

## IFCC 各種委員会参加報告

報告者 氏名： 坂本秀生

報告者 日本での所属： 神戸常盤大学

参加委員会正式名： Internet and e-learning (C-IeL)

会議日： 2015年6月22日

会議開催時の学会または行事： EuroMedLab 2015

会議開催場所： フランス、パリ

### 委員会の概要報告

C-IeL は Communications and Publications (CPD) の委員会として、IFCC のホームページメンテナンス、e-learning 教材作成方法提供の仕組みを担当するなど、技術的なサポートや IFCC ホームページ解析が主たる役割である。

IFCC では 2012 年クアラルンプールの IFCC General conference 時に eAcademy 構想を立ち上げ、Education and Management Division (EMD) と共に eAcademy の構築も行っている。eAcademy のコンテンツである教材内容に関しては EMD の、Education and Management C-DL (Distance learning) が主となって内容を考えている。C-DL とは学習及び教育環境がまだ整っていない地域の者にも臨床化学に関する情報を提供できるよう、IFCC に設けられた委員会の一つである。

e-learning 作成には充実した内容だけでなく、教材作成方法とその公表方法も重要である。作成者側は専門分野の情報に長けているが、online 教材の作成方法には詳しく無い場合があり、それをサポートするのが C-IeL である。

eAcademy はすでに IFCC のホームページで公表されはじめ、コンテンツを充実している段階である。

<http://eacademy.ifcc.org>

### 今後の課題事項

- ・ どのように今後は eAcademy を発展させていくか
- ・ 教材作成をどのように行うか
- ・ 多言語にどのように対応するか

上記の課題に対し、具体的な名称や内容が幾つか示され、実現可能か IFCC 本部と協議しながら進めることとした。